

大使館便り

第203号 令和2年2月12日
在ポルトガル日本国大使館

1. 牛尾大使からのご挨拶

1月9日に無事にレベロ・デ・ソウザ大統領に信任状を捧呈し、駐ポルトガル大使としての活動を開始いたしました。

1月には衛藤日本ポルトガル友好議連一行がポルトガルを訪問し、レベロ・デ・ソウザ大統領を表敬し、両国関係を更に発展させていきたいとの思いは同じである旨確認いたしました。また同一行は滞在中、ポルトガル政府関係者及び両国関係のさらなる強化に欠かせない経済・文化関係者等との意見交換を行いました。私自身も今月は着任挨拶のために様々な方々と直接お会いし、両国の歴史的絆を実感するとともに更なる関係の発展に向け、思いを新たにしております。

2月1日には日EU経済連携協定（EPA）が発効1周年を迎え、本邦において、茂木外務大臣出席の下、「日EU・EPA発効1周年記念レセプション」が開催されました。最初の10か月でEUの対日輸出は、対前年同時期比で6.6%増加し、同様に、日本からの対EU輸出は6.3%増加しております。世界経済が不確実性を増す中、日EU間の貿易が堅調に推移していることを嬉しく思うと共に、日本・ポルトガル経済関係の更なる発展に向け、大使として尽力したいと思います。

2. 政治・経済関係

（1）レベロ・デ・ソウザ大統領の新年のメッセージ

1月1日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、アソーレス諸島のコルヴォ島より新年のメッセージを発表しました。大統領は、世界、欧州及びポルトガルにおいて、2020年が新しいサイクルの始まりであり、これに対し希望を持つべきである旨述べました。また、世界において、大国間の貿易戦争が解決され、気候変動、人権尊重、アジア、ラテン・アメリカ及びアフリカにおける紛争解決、移民難民問題への取組み等に関するグテーレス国連事務総長のあらゆる呼びかけに対しこれまで以上に関心が向けられることを望む旨、述べました。欧州において、2019年5月の欧州議会選挙により選出された議員及び主要機関の代表者がEUの一体感を一層強め、気候変動対策に取り組みつつ、経済成長及び雇用を促進し、不平等と闘うことを望みました。そして、ポルトガルにおける希望は、国民の意思により引き続き政権を担うこととなった社会党政権が強い政府であり、対話的であること、また、野党が政権の代替となり得るほどに強い野党であり、国益に関する議論が行われる際には与野党の枠を超えた協力的な姿勢を示すことを望みました。

（2）サントス・シルヴァ外務大臣、外交セミナーで講演

1月6日、サントス・シルヴァ外務大臣は、外務省で開催された外交セミナーにおいて、基調講

演を行い、2021年上半期にポルトガルがEU議長国を務めることに先立ち、2020年のポルトガル外交の最重点テーマは欧州の在り方であり、ポルトガルは、前後にEU議長国を務めるドイツ及びスロベニアと密接に協力しつつ、気候変動及び環境保護、経済及び社会におけるデジタル移行、世界に開かれたEUの促進等に焦点を当てる旨述べました。

（３）ルイ・リオ氏が社会民主党（PSD）党首に再選

1月11日、最大野党・社会民主党（PSD）の党首選が行われました。同選挙において、ルイ・リオ現 PSD 党首、ルイス・モンテネグロ元 PSD 会派長及びミゲル・ピント・ルス・カスカイス副市長の3名の候補者が争い、投票結果は、リオ党首が49.44%、モンテネグロ元会派長が41.26%、ピント・ルス副市長が9.3%となり、いずれの候補者も過半数を獲得できなかったため、上位2名が決選投票に進みました。

1月18日、党首選決選投票が行われ、リオ党首が53%、モンテネグロ元会派長が47%の得票を得て、リオ氏が PSD 党首に再選されました。

（４）「リスボン欧州グリーン首都2020」オープニング記念式典

1月11日、リスボンのエドゥアルド7世公園にて、「リスボン欧州グリーン首都2020 (Lisbon European Green Capital 2020)」オープニング記念式典が開催されました。同式典には、メディーナ・リスボン市長、レベロ・デ・ソウザ大統領、コスタ首相、グテーレス国連事務総長、ティメルマンス欧州委員会副委員長、マトス・フェルナンデス環境・気候変動大臣らが出席しました。

1月29日、リスボン市主催のイベントにおいて、エネルギー、移動手段、循環型経済、市民参加分野等の200以上の団体代表者が「リスボン欧州グリーン首都2020～リスボン気候変動2030に向けた誓約」に署名し、それぞれの分野において、今後10年間、気候変動に対処するための取組にコミットしました。

欧州委員会の「欧州グリーン首都賞(European Green Capital Award)」は2010年に設けられ、環境保護及び経済成長を両立させながら、人々の生活の質を向上させる都市の取組を称え振興することを目的としています。2018年6月21日にリスボン市が同賞を受賞した際、選考委員会は、リスボンが経済危機の時期に持続可能な都市の実現に向けた取組を開始したことを評価しました。2021年の「欧州グリーン首都」はフィンランドのラハティ市に決定されています。

（５）世論調査結果—1月

1月30日、ジョルナル・デ・ネゴシオス紙は、インテルカンパス社が実施した世論調査結果を発表しました。前回調査と比べ、与党・社会党（PS）の支持率は微減、左翼連合（BE）及びシェーガ党（CH）の支持率は微増しました。また、10月の共和国議会選挙において、大幅に議席数を減らした民衆党（CDS）の支持率は半分程度に減少しました。

同社による最近の政党別支持率は以下のとおりです。

政党%	10月	11月	12月	1月
社会党(PS)	35.6	34.9	33.9	32.8
社会民主党(PSD)	24.8	24.9	25.7	25.8
左翼連合(BE)	10.7	10.8	10.7	11.9
ポルトガル共産党(PCP)	6.9	8.1	6.3	6.2
人と動物と自然の党(PAN)	5.3	4.8	6.1	6.0

民衆党 (CDS)	4.4	2.9	3.9	1.9
シェーガ党 (CH)	2.5	4.8	5.7	6.2
リベラル主導党 (IL)	0.8	2.9	2.4	2.3
自由党 (Livres)	2.7	2.7	1.1	1.7

3. 広報・文化関係

(イベント)

●日本の世界遺産写真展

2020年日本ポルトガル修好160周年記念イベントの嚆矢となる写真家三好和義による「日本の世界遺産写真展」(写真・パネル全43作品;国際交流基金マドリード文化センター主催、シントラ市、シントラアート美術館および当館共催)が、シントラアート美術館において以下の通り開催されています。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

日時:1月17日(金)～3月1日(日)(月曜休み)

会場:シントラアート美術館 (MU. S A)

住所: Av. Heliodoro Salgado 102, 2710-720 Sintra

お問い合わせ:cultural@lb.mofa.go.jp / Tel.: 213110560

入場無料

URL:<https://cm-sintra.pt/atualidade/cultura/museus-municipais-de-sintra/mu-sa-museu-das-artes-de-sintra>

●鈴木仁篤&Rossana Torres 氏によるドキュメンタリー作品「Terra」の上映

ポルトガル在住の映像作家、鈴木仁篤氏と Rossana Torres 氏によるドキュメンタリー作品「Terra」が以下の通り上映されます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

日時:2月26日(水) 20:30～

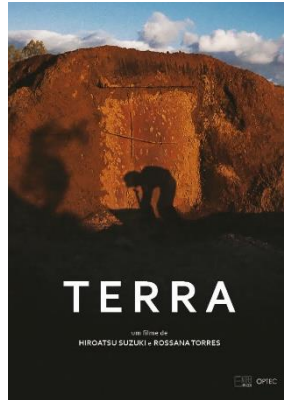
会場:Sala do Carvão - A Casa das Caldeiras

住所:Rua Padre António Vieira 5, 3000-350 Coimbra

お問い合わせ:239855636 (Tel.)

入場無料

URL:<https://tagv.pt/agenda/sessoes-do-carvao-o-cinema-falado-6/>



●国際交流基金マドリッド日本文化センターによる切り絵、日本語ワークショップの開催

国際交流基金マドリッド日本文化センターにより、ポルトガル日本語教師会設立記念、および日本ポルトガル修好160周年記念事業の一環として、以下のとおり、日本語学習者を対象とした切り紙・日本語ワークショップが開催されます。詳細は下記までお問い合わせください。

1. 切り紙ワークショップ

日時：3月7日(土) 15:30～17:30

会場：在ポルトガル日本国大使館多目的ホール

住所：Av. da Liberdade, No 245-6º, 1269-033 Lisboa

対象者：15歳以上の日本語学習者

参加費無料（30名まで）

お問い合わせ：cultural@lb.mofa.go.jp / Tel.: 213110560

申込方法：nihongo@fundacionjapon.es宛て参加希望の旨をa.お名前(含ローマ字表記)、b.生年月日、c.メールアドレス、d.電話番号、e.身分証明書番号を添えてご連絡ください。



2. 日本語ワークショップ (Vamos japonicar ! - 日本語で話そう !)

日時：3月7日(土) 18:00～19:30

会場・住所・住所：同上

対象者：初級前半から上級までの日本語学習者

参加費無料

お問い合わせ：cultural@lb.mofa.go.jp / Tel.: 213110560

申込方法：2月25日(火)までに nihongo@fundacionjapon.es 宛て参加希望の旨を a.

お名前(含ローマ字表記)、b. メールアドレス、c. 身分証明書番号を添えてご連絡ください。



● 第16回国際交流基金マドリッド日本文化センター主催ポルトガル日本語教育巡回セミナー

国際交流基金マドリッド文化センター主催、ポルトガル日本語教師会企画による日本語教育セミナーが下記のとおり開催されます。日本語教育に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。総会のみ、セミナーのみの参加も受け付けております。詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

日時：3月8日(日)

a. ポルトガル日本語教師会 総会 14:30 ～ 15:20

(非会員の方は、ご希望があればオブザーバーとして見学いただけます。)

b. 日本語教育セミナー 15:30 ～ 18:30

テーマ：「書くことの指導を考える」

講師：篠崎摂子先生 (JF マドリッド日本文化センター)

会場：在ポルトガル日本国大使館多目的ホール

住所：Av. da Liberdade, No 245-6º, 1269-033 Lisboa

参加費：(会員) 資料代とお茶代として 3 ユーロ程度

(非会員) 5 ユーロ

お問い合わせ：APJP ポルトガル日本語教師会 高松 apjpjapones@gmail.com

注) 会場の入場には、パスポートの提示が必要となりますので、ご持参ください。なお、入場には日本大使館員の同行が必要となるため、ご参加希望の方は必ず下記の APJP ポル

トガル日本語教師会 高松までお知らせください。集合場所と時間のご連絡をさせていただきます。

当協会では、会の主旨にご賛同いただける方の入会希望を随時、受け付けております。今回の総会・セミナー開催直前での入会も大歓迎です。なお規定の範囲内となりますが遠方より参加の会員の方へは交通費補助がございます。お気軽にお問い合わせください。

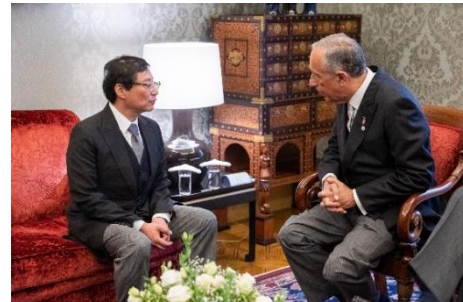
(報告)

●牛尾大使によるレベロ・デ・ソウザ大統領への信任状捧呈

1月9日、牛尾大使は、大統領府にてレベロ・デ・ソウザ大統領に対し信任状を捧呈しました。



© 2020 Rui Ochoa/Presidência da República



© 2020 Rui Ochoa/Presidência da República

●日本の世界遺産写真展オープニング

1月17日、写真家三好和義による「日本の世界遺産写真展」のオープニングが、オルタ・シントラ市長、松嶋国際交流基金マドリード日本文化センター副所長、牛尾大使出席のもと行われました。本オープニングには約40名が参加し、一連の日本ポルトガル修好160周年記念イベントの皮切りとなりました。



●日本ポルトガル修好160周年記念オープングレセプション（墨絵デモンストレーション）

1月20日（月）、日本大使公邸において、2020年日本ポルトガル修好160周年を記念し、同オープングレセプションが開催されました。日本ポルトガル修好160周年は、1860年の日葡修好通商条約締結以来160周年を記念するもので、日本から、日本ポルトガル友好議員連盟代表団一行（団長：衛藤征士郎（元衆議院副議長）同議連会長）、ポルトガルからはブリリャンテ・ディアス外務副大臣を始め政治・経済・文化各界の代表者列席のもと、もっとも古い日欧関係である日葡間の友好を確認し、記念すべき本周年を祝賀いたしました。





●レオニルダ・アルファロビーニャ氏およびフェルナンド・ベッサ氏に対する外務大臣表彰

1月30日（木）、日本国大使公邸において、レオニルダ・アルファロビーニャ氏およびフェルナンド・ベッサ氏に対する外務大臣表彰が行われました。

アルファロビーニャ氏は、高校教師としての勤務の傍ら日本の俳句に関心を抱き、自ら俳句の創作・研究を行いながらポルトガルにおける俳句の普及を通じて日本・ポルトガル両国の相互理解に努めてられました。

またベッサ氏は、ポルトガル日本商工会議所会頭、同名誉会頭として日本企業との関係構築、並びに日本に進出するポルトガル企業との調整を通じ二国間貿易の促進に努めてられました。さらに両氏は、その他文化イベントにも積極的に協力され、両国間の友好親善にも多大な貢献をしてられました。

表彰セレモニーには、両氏のご家族・ご友人等約50名が参加され、表彰後和やかに歓談が行われました。



●JapanNET 会合

2月4日（火）、日本国大使公邸において、第17回 JapanNET 会合が開催され23の日本関連団体が参加しました。JapanNET は、日本関連団体・個人のネットワーキングとして年に1回、参加団体間の情報交換・親睦交流の場として開催されています。今年2020年は、日本ポルトガル修好160周年を迎え、日本大使館による主催あるいは各団体・個人のイニシアチブによる各種イベントの等の概要説明・関連質疑応答の後、しばし歓談し、親睦を深めました。





(お知らせ)

●「日本語能力試験」の開催

国際交流基金と日本国際教育支援協会の主催による「日本語能力試験」(JLPT)が以下の要領で実施されます。詳細については下記までお問い合わせ下さい。

日時: 期日: 7月5日(日)

出願受付期間: 3月18日(水)～4月1日(水)

会場: Faculdade de Letras da Universidade do Porto (ポルト大学文学部)

住所: Via Panorâmica, s/n 4150-564, Porto

お問い合わせ: jlpt@letras.up.pt (ポルト大学文学部)

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

（２）新型コロナウイルス感染症について

２月１１日現在、ポルトガル国内における確定症例はありませんが、２月１１日付けポルトガル保健省保険総局発表によれば、中国への渡航歴のある男女２名が新型コロナウイルス感染が疑われましたが、検疫の結果陰性でした。

新型コロナウイルス感染症については、インターネット、新聞、ニュース、ポルトガル保健省保健総局等の最新情報を収集し、感染予防に努めてください。

◆ポルトガル保健省保健総局

<https://www.dgs.pt/profissional/comunicados-do-diretor-geral-da-saude.aspx>

◆厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

◆国立感染症研究所ホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/>

なお、外務省海外安全ホームページ上で、新型コロナウイルスの感染危険情報を掲載し、随時更新していますので、あわせてご参照下さい。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_009.html#ad-image-0

新型コロナウイルスにかかる東洋人に対する風評被害（感染者であるかのごとく扱われる被害）等について、お心あたりのある方は、当館領事班へご連絡を下さるようお願い致します。

（３）第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

（４）海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に！

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。：

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html>

（５）当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：consular@lb.mofa.go.jp

リスボン日本語補習授業校 講師の募集について

リスボン日本語補習授業校では、2020 年度（4 月 18 日始業予定）の開始に向けて、講師を募集いたしております。

子供たちの未来を真剣にお考え下さり、教育に対して熱意をお持ちの方、どうぞご連絡ください。

- 仕事内容： 幼稚部（年長）、小学部、中学部に対する、日本国義務教育に準拠した補習授業教育指導（国語、算数（数学））。
 - 資 格： 資格や経験は問いません。真面目に、そしてなるべく長期にわたって勤務くださる方。
 - 勤務時間： 毎週土曜日 8 時 30 分～13 時 30 分
 - 勤務場所： Escola Secundária D. Pedro V
Estrada das Laranjeiras 122, 1600-136 Lisboa
 - 学校 HP： <https://lisbon-jschool.wixsite.com/lisbon-jschool/blank-1>
 - 連絡先： lisbon_jschool@yahoo.co.jp （担当： 川合）
- ※ 委細は面談の上で